

No.	研修日	研修形態	参加議員名 ※	< ■研修先 / ★研修項目 >
1	平成28年 4月27日～28日	広聴広報委員会	伊丹 準二(正) 石山 秀和(副) 篠原 重寿 大平 直昭 井下 尊義 五味 伸亮 豊浦 孝幸	■ 島根県浜田市 ★ 議会報告会、地域井戸端会について ■ 鳥取県大山町 ★ 議会だよりについて
2	平成28年 5月10日～12日	総務委員会	友枝 俊陽(正) 伊丹 準二(副) 秋山 忠敏 大久保 隆敏 安藤 忠明 大矢 一夫 大平 直昭	■ 愛知県尾張旭市 ★ あさひAEDサポートについて ■ 愛知県一宮市 ★ 市民が選ぶ市民活動支援制度について ■ 滋賀県近江八幡市 ★ ふるさと納税制度、あかこんバス運行事業について ■ 大阪府大阪市 ★ 職員基本条例、防災アプリ活用事業について
3	平成28年 5月16日～18日	文教民生委員会	井下 尊義(正) 豊浦 孝幸(副) 大賀 正三 詫間 茂 藤田 均	■ 長野県長野市 ★ 認知症初期集中支援チームについて ■ 東京都日の出町 ★ お年寄りに優しい3つの福祉施策について ■ 日本学生トライアスロン連合(東京都) ★ 概要及び陳情等について
4	平成28年 7月20日～22日	建設経済委員会	安藤 康次(正) 篠原 和代(副) 篠原 重寿 石山 秀和 井上 浩司 立石 隆男 五味 伸亮	■ 山口県宇部市 ★ うべ元気ブランドにつて ■ 山口県山口市 ★ 観光交流基本計画について ■ 山口県周南市 ★ 徳山駅周辺整備事業について ■ 広島県呉市 ★ 農業再生事業について
5	平成28年 7月26日～27日	議会運営委員会	大賀 正三(正) 大久保 隆敏(副) 大平 直昭 安藤 康次 井下 尊義 友枝 俊陽 藤田 均	■ 滋賀県大津市 ★ 議会ICT化の取り組みと政策立案について ■ 大阪府堺市 ★ 議会改革について
6	平成29年 2月13日	文教民生委員会	篠原 和代(正) 立石 隆男(副) 高橋 照雄 篠原 重寿 石山 秀和 安藤 康次	■ 香川県高松市 ★ 高松市子ども未来館について

平成28年度 観音寺市議会 個人研修状況

No.	研修日	研修形態	参加議員名 ※	< ■研修先 / ★研修項目 / ◆報告・感想 >
1	平成28年 7月13日～15日	個人行政視察	秋山 忠敏 大賀 正三 立石 隆男 伊丹 準二 篠原 和次 安藤 康次 井下 尊義 友枝 俊陽 豊浦 孝幸	■ 国会議事堂 ★ 国会勉強会 ◆ ① 衆議院第一議員会館の大野敬太郎代議士事務所に、国道11号の拡幅及び愛媛県境にかかるバイパス建設等の要望書を提出した。その後、衆議院第一議員会館の会議室に、国土交通省道路局伊藤国道事業調査官と和田交通安全事業係長を招いて、勉強会を開催した。
				■ 神奈川県藤沢市 ★ シティプロモーションの推進、地産地消推進事業について ◆ ① O157や鳥インフルエンザ発生等で「食の安全」に対する考え方が変化し、荒廃農地対策・環境への認識が変わり、「藤沢市地産地消の推進に関する条例」が平成20年に制定された。これにより、「藤沢市地産地消推進計画」を策定し、重点的取り組み施策と長期的施策を推進している。 ② 重点的に取り組む施策(1)「藤沢産」の農水産物の需要拡大・供給強化(2)「藤沢産」農水産物の学校給食供給強化(3)「藤沢産利用推進店」制度の充実、「藤沢産」ブランドの強化 ③ 長期的に取り組む施策(1)「藤沢産」農水産物の付加価値向上に取り組む施策(2)藤沢市農水産物を維持・発展させるため、継続的に取り組む施策。
				■ 神奈川県厚木市 ★ 公共施設最適化推進事業について ◆ ① 人口の増加した昭和50年代を中心に整備され、今後一斉に施設の更新時期を迎えるにあたり、深刻な状況となることと予想されるため「厚木市公共施設最適化基本計画」が策定された。 ② 「厚木市公共施設最適化基本計画」は、平成27年度から平成66年度の40年間の長期計画で、10年ごとに見直しを行う。また、個別施設計画は5年ごとに見直しを行う。 ③ 3つの個別計画の取り組み(1)公共建築物の維持管理目標実現のための取り組み(2)土木インフラに維持管理目標実現のための取り組み(3)中心市街地の再配置目標実現のための取り組み。
				■ 山崎製パン本社(東京都) ★ 陳情 ◆ ① 本社に観音寺工場建設をお願いした。 ② ヤマザキ製パンは全国に26工場あるが、関連事業所を含めると、100以上の事業所規模となる。 ③ 20年前に取得した観音寺市の工業用地は、大部分が空き地となっているが、手放すことは考えていない。 ④ 東南海トラフ連動の大地震が起きた場合、観音寺の工業用地は非常に安全性の高い場所であると思っているが、本社の方針は、すぐの工場建設とはならない状況である。 ⑤ 是非とも工場を早期に建てていただき、雇用の推進や観音寺市の活性化につなげていきたいと、再度工場建設をお願いした。
2	平成28年 10月18日～21日	個人行政視察	大久保 隆敏 高橋 照雄 五味 伸亮 篠原 重寿 藤田 均	■ 長野県大町市 ★ 町川地点小水力発電設備導入事業について ◆ ① 水の豊富さと地形を活かした水力発電所を導入し、二酸化炭素排出を抑制している。 ② 平成20年度に事業着手。震災以降の電力固定買取制度の効果もあり、300世帯分の発電を市有施設への供給と、年間800万円ほど売電に充てている。 ③ 総事業費1億5,900万円(協議会補助50%、合併特例債47.5%、その他一般財源) ④ エネルギー政策の学習の場を行政が提供している姿勢を学んだ。 ⑤ 地球に、人にやさしい自然エネルギーを開発していく努力に敬意を表したい。
				■ 長野県須坂市 ★ 信州すざか農業小学校豊丘校について ◆ ① 現市長が公約として「農業小学校」を打ち出し、開校している。 ② 自然体験の少ない子どもたちに、農業を体験させ「食」の重要性を学ぶ機会を提供する取り組み。 ③ 年間を通して参加者を募り、地元の農業者を「農業先生」として迎え、将来の郷土を背負う人材となるように考えている。 ④ 年間を通してかかわることで、地域コミュニティの活性化や「食育」の観点からも、おもしろい取り組みである。
				■ 長野県佐久市 ★ 防災行政無線について ◆ ① 合併後、市内全体への防災告知の手段がなく、迅速かつ正確に伝達するために、6億3,000万円をかけ、平成22年度までに整備した。 ② 屋外スピーカーのみで周知している。 ③ 設置後、放送内容の聞こえ方など、職員も同行して細かく調査した。 ④ その他の手段として、電話、FAX、メールを通じての配信も行っている。 ⑤ 本市と同様の屋外機による方式だが、設置に向けての調査などの丁寧さが印象的である。 ⑥ 難聴地域に対する対応については、今後のランニングコストなどを考慮し、判断すべき。
				■ 群馬県安中市 ★ ウォーキング・トレイル事業「アプトの道」について ◆ ① 明治後期から昭和30年代まで、上信国境の碓氷峠を越えて大動脈として栄えた「碓氷線」が廃止され、平成5年には国指定重要文化財となる。 ② 路線は、世界でもめずらしいアプト式が採用されている。 ③ 現存する軌道、レンガ造りの施設やアーチ式の橋梁などを活かし、約6億8,000万円をかけ、約6kmをウォーキングコースとして、平成24年に全体整備が完了した。 ④ 健康志向ブームもあり、観光資源として大いに活用されている。 ⑤ 巨額の投資に驚いたが、約7割の補助メニューがあったこと。何よりも、関東圏の人口を対象にできる地理的優位性を考えての事業と捉えた。 ⑥ 本市においても改めて見つめる必要性を感じた。
				■ 埼玉県川口市 ★ 地域貢献事業者認定事業について ◆ ① 鋳物工業などを中心とした中小企業による「ものづくり」が川口市を支えてきた。 ② 中小事業者をさらに育成・発展させるため、「川口市産業振興指針」を定めた。 ③ 地域社会に貢献している事業者を認定して助成金を出し、地域ブランドを市がまちづくりのパートナーと位置づけ、外に向けてアピールしている。 ④ 中小事業者の育成は本市にとっても重要な施策。今後は、事業者の育成を通じて定住促進にも活かさなければならない。 ⑤ 「ものづくり」は長い歴史をかけて育っている。本市も歴史的な背景を踏まえたまちづくりの取り組みが必要である。
				■ 東京都福生市 ★ 振り込め詐欺ゼロキャンペーン事業について ◆ ① 高齢者への振り込め詐欺の実態として、平成24年度には7件で2,800万円の被害があった。 ② 東京都より1,500万円の補助を受け、被害の未然防止に取り組んだ。 ③ 対象となる高齢者世帯9,700戸を2人一組で戸別訪問し、啓発活動を実施。その結果、消費者相談件数が増え、全国版のマスコミでも取り上げられた。 ④ 福生市のような「戸別訪問」は安否確認につながる。コスト問題はあるが、本市でも検討すべきであると感じた。

3	平成28年 10月27日～29日	個人行政視察	大平 直昭 井上 浩司 石山 秀和	<p>■ 東京都多摩市</p> <p>★ 決算事務事業評価について</p> <p>◆ ①平成16年度から事務事業評価を開始。「決算と予算の運動」を重視し、平成17年度から会派ごとの評価を開始した。 ②平成22年に議会基本条例を施行し、平成24年度から議会としての評価をしている。 ③4常任委員会を単位とする分科会を設置し、重要事業を選定。 ④平成27年度から「施策評価」を施行実施(各分科会1施策)、予算案作成において議会の総意として反映されている。 ⑤議会も執行部もかなりの手間をかけ、市民のために施策がよりいいものになるように取り組んでいる。</p> <hr/> <p>■ 東京都八王子市</p> <p>★ 農地バンク制度について</p> <p>◆ ①遊休農地の発生を防止及び解消することを目的に平成26年度に創設。 ②市内の市街化調整区域内にある遊休農地などで、貸付を希望する農地の情報を集約するとともに、農業の経営規模を拡大したい農家や法人、新規就農者に農地の情報を提供し、利用権設定による貸借につなげていく制度。 ③制度の周知や意向調査を進めていく必要があるが、ポスターや回覧物だけでは不足しているため、農業委員及び農地利用最適化推進員の協力が必要。</p> <p>★ 議場コンサートについて</p> <p>◆ ①多くの市民に市議会に足を運んでもらい傍聴者を増やすことで、身近で開かれた議会を実現するとともに、議会の活性化を図ることを目的として、平成10年より開催。 ②当初は、大学生によるコンサートを開催。現在は議会だよりや市議会ホームページで募集して、一般市民によるコンサートを開催。 ③演奏時間(議会前)9時30分～9時50分(約20分間)謝礼1万円 ④傍聴者の増加がほとんど演奏関係者等にとどまっている。</p> <hr/> <p>■ 東京都日野市</p> <p>★ 発達・教育支援センター「エール」について</p> <p>◆ ①平成26年4月開設。 ②個性に応じた子どもの健やかな成長を共に支え合い、継続した育ちのサポートに資することを目的とする。0歳から18歳までの日野市在住者で、発達面、行動面、学校生活面において支援を必要とする子ども、子どもの育ちについて不安がある保護者、関係機関に対し教育委員会・小学校・中学校が一体となって、継続した支援、専門的で総合的な相談や支援を実施している。 ③施設の特徴(1)発達や教育についての相談・支援窓口を一本化、相談・支援体制が分かりやすい。(2)福祉と教育の連携による、切れ目のない支援。(3)多様な専門職による支援。(心理士、言語聴覚士、作業療法士、保健師、スクールソーシャルワーカーなど)</p> <hr/> <p>■ 神奈川県川崎市</p> <p>★ かわさきエコ暮らし未来館について</p> <p>◆ ①地球温暖化問題、太陽光発電などの再生可能エネルギー、資源循環の3つのテーマについて、見て、聞いて、触って学べる平成25年8月に開館した環境学習施設。来館者数は今年で5万人を達成。 ②1階のガイダンスゾーンでは、川崎市域の航空写真が床に張ってあり、隣接する浮島太陽光発電所(メガソーラー)の現在の姿が、定点カメラで見ることができる。メガソーラーの発電量もリアルタイムで分かる。川崎臨海部の主な発電施設やエコ施設のマップも展示。 ③2階の展示室は、地球温暖化チャレンジゾーン、再生可能チャレンジゾーン、資源循環チャレンジゾーンの3つに分かれている。 ④隣接する資源処理施設では、灰プラスチックや雑誌の分別作業、また展示スペースからは焼却灰埋め立て地のメガソーラー(浮島太陽光発電所・扇島太陽光発電所)を見ることができる。</p>
4	平成28年 10月29日～30日	個人行政視察	大平 直昭	<p>■ 神奈川県横浜市中区</p> <p>★ 24時間保育園チャフルランドについて</p> <p>◆ ①平成25年に横浜関内の繁華街に開園した、24時間対応の認可外保育園。(市の支援は無し) ②定員15名、入園費10,000円、「土日祝」は別途2,000円/日 ③月額保育料は、昼間51,000円～、夜間67,000円～、一時保育は、昼間600円～、750円～</p> <hr/> <p>■ 神奈川県横浜市金沢区</p> <p>★ 3R夢ひろば 金沢について</p> <p>◆ ①ごみの減量化・分別をより一層推進するための情報発信施設。 ②生ごみ水切り道具、ヨコハマ3R夢！ポスターコンクール入賞作品、ごみ分別パズルゲーム他を展示している。 ③工場と併せて見学することにより、環境問題についてより一層学べる施設である。</p> <hr/> <p>■ 神奈川県横浜市港南区</p> <p>★ 港南区民文化センター「ひまわりの郷」について</p> <p>◆ ①上大岡駅ビル4階の屋上広場に位置する。 ②平成9年に開館し、音楽ホールとギャラリーを中心とした施設で、文化活動の練習や発表、芸術鑑賞の場として幅広く利用できる、交通が大変至便な文化施設。 ③子育て支援、青少年育成、高齢者福祉等に貢献する自主事業を数多く開催している。 ④指定管理者委託料は、年間1億7,000万円 ⑤地域の子どもからお年寄りまでが年間を通して利用する、親しみやすい文化施設である。</p>
5	平成28年 11月16日～18日	個人行政視察	大矢 一夫 詫間 茂	<p>■ 国会議事堂</p> <p>★ 総務省自治体の財政、職員派遣</p> <p>◆ ①類似団体(人口6万規模の市)と観音寺市の財政状況の比較。 財政力、財政構造の弾力性、人件費、物件費等の状況、将来負担の状況、公債費負担の状況、定員管理の状況、給与水準等、類似団体の中間位であり、地方の市としては健全な状況にあることが理解できた。</p> <p>★ 経済産業省中小企業支援策について</p> <p>◆ ①全事業者数の99.7%が中小企業であり、全従業員の約70%が中小企業に就職している。 ②中小企業・小規模事業者の業種別従業員数、付加価値額、地域を担う産業の変化、事業者数の推移、経営者の高齢化、我が国の開業率、最近の景況感、売上と収益、人手不足、労働生産性の格差、設備投資収益力と投資の二極化、IT化の現状、中小企業の海外展開、金融機関からの貸出状況など課題は山積みしている。</p> <hr/> <p>■ 愛知県蒲郡市</p> <p>★ いいき市民健康づくりについて</p> <p>◆ ①市民の健康寿命の延伸と健康を社会や地域で支える環境整備、医療費の適正化を目的に、生活習慣病予防に視点をあてた健康づくり事業を実施している。 ②平成24年度に、国保特定健診メタボが該当者が県内トップであったことから、平成25年度より事業化している。 ③健康大学糖尿病予防学部、脳トレや筋トレ実践教室を開催。体重測定100日チャレンジ、目指せ1万人を実施。 ④市民、関係機関、全庁職員で策定した「健康がまごおり21第2次計画」推進のため、地域に連携した野菜ファーストや防災訓練で、逃げる体力づくり等の取り組みも進めている。</p> <hr/> <p>■ 大阪府高石市</p> <p>★ スマートウェルネス事業について</p> <p>◆ ①第4次高石市総合計画基本構想の基本理念「市民主体のやさしさと活力あふれる“健幸”のまち」の実現を目指し、医療費や社会保障の抑制を目的としている。 ②内閣府の総合特別地域指定を受けたモデル事業である。 ③身体活動量や生活習慣に応じた個人指導、健康増進プログラムの設定、「毎日が“元気”健康ウォーキング」等を実施し、市民の健康増進を図っている。</p>

6	平成29年 2月1日～2日	個人行政視察	大平 直昭 井上 浩司	<p>■ 三重県伊賀市</p> <p>★ ハイピア伊賀について</p> <p>◆ ①伊賀鉄道上野市駅前に立地する公共公益施設、店舗、事務所などが入居する総合施設。 ②地下1階駐車場、1～2階店舗、3階上野商工会議所、4階保健センター・子育て包括支援センター・男女共同参画センター、5階多目的大研修室・生涯学習センターがある。 ③総事業費約54億円、施行期間平成19年度～25年度。 ④利用状況年間約56万人、駐車場年間約27万台、駅前広場年間約24,000人(土曜朝市他イベント)</p>
				<p>■ 大阪府泉南市</p> <p>★ 高齢者福祉サービスについて</p> <p>◆ ・徘徊高齢者等SOSネットワークについて ①高齢者が、所在不明になったり、家に帰れなくなった場合に、速やかに発見・保護し、完全に家族等のもとに帰れるように、市内の関係機関・団体・事業所と地域住民が協力して取り組むシステム。 ②平成21年に要綱を制定、その後、FAX一斉送信システムやメール配信システム等を活用しながら事業を行っている。 ③登録協力機関62件(金融機関、鉄道、バス会社、コンビニ、小売業者等)、事前登録者68名。 ④発信状況平成25年度3件、平成26年度5件、平成27年度2件、平成28年度5件。 ・街かどデイハウス事業について ①地域の既存施設(集会所や民家)を利用し、住民参加による、柔軟できめ細かな日帰りサービスを提供する住民参加型非営利団体を支援し、当該高齢者自立的な生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上等を図ることを目的としている。(大阪府の交付金事業を活用) ②利用者は利用料を払う。 1日約850円、週3日～5日 ③現在4団体で、内容は介護予防活動、健康体操、給食、歌、おしゃべり等。</p>